

CEATEC 2020 オンラインカンファレンス ダイバーシティとDX~実現のための4つのTips~

講師：Wovn Technologies株式会社 Product Marketing Manager 小林 弘佑氏

令和2年10月20日、アジア最大級の規模で開催されたIT技術とエレクトロニクスの国際展示会「CEATEC 2020」において、Wovn Technologies株式会社が、ダイバーシティ経営に取り組む企業の外国人従業員に関する課題解決のためのオンラインセミナーを開催しました。

Wovn Technologies株式会社は、Webサイトやアプリを様々な言語に多言語化するサービスを提供している企業です。

セミナーでは、インターネット上における外国語の影響力やダイバーシティ経営の意義、企業動向が紹介された後、外国人雇用市場における課題に対し、企業の具体的な取組事例と対応策が紹介されました。



現在、インターネットにより世界中のどこにいても、あらゆるものつなげることができる環境の整備が進んでいます。多くのインターネットユーザーは母国語で情報を入手したいと考えていることから、言語のサポートを広げると市場拡大につながる事が考えられます。

また、日本に暮らす約300万人の在留外国人市場は、訪日外国人市場よりも大きく、訪日外国人市場が減っている今、在留外国人市場をどのように維持していくかは喫緊の課題です。しかし外国人が働く上で欠かせない金融機関口座の開設などは、日本語での案内が前提となっており、災害情報なども多くが日本語のみとなっています。

インターネット取引はますます増加傾向にあり、また、競争環境の国際化など外部環境の変化によって、人材戦略の改革を含めた企業のダイバーシティ化が求められています。小林氏は、これらの背景から、国内外の外国人の多言語体験（マルチリンガルエクスペリエンス）を増やすことが求められていると話しました。

外国人雇用に関し、企業戦略として取り組んでいるのは、富士フイルム株式会社です。富士フイルムではトップのメッセージや企業理念をグループ内に浸透させるため、社内向けの情報活用・共有を行うウェブサイトであるイントラサイトの多言語化を行いました。このようにコロナ禍におけるコミュニケーションのあり方が変化する中で、日本人以外の従業員に対しても、企業理念やトップメッセージを多言語で伝える取組を行う企業が増えていきます。



株式会社リンクアンドモチベーションは、多様な人材の採用を強化するため多言語化に取り組んでいます。外国人従業員の満足度を可視化することで、多様化する組織において、内情をより正確に把握することができ、新たなイノベーションの創造に貢献できると考えています。



スムーズな労務手続きを実現することで、人材の定着を進めるのは株式会社SmartHRです。株式会社SmartHRでは、労務手続きのペーパーレス化を進めるとともに、外国人従業員が日本人従業員と同じように手続きができるように、オンライン手続きの5ヶ国語対応を実現しました。



Zaura Japan株式会社は、近年注目のビジネスモデルとして多くの企業が取り入れているサブスクリプションサービスの管理業務を効率化するソフトウェアを提供し、ニューヨーク証券市場に上場する企業です。Zaura Japan株式

会社が日本での市場拡大を目指す上で、自社製品のマニュアルや顧客向けマニュアルの多言語化は避けられず、今回、日本語も含め多言語化することによって、顧客となる日本企業の要求を満たし、日本における市場拡大を図っています。

世界ではサービスの国際化が進む中で、競争戦略としてのダイバーシティ経営が注目されています。そうした外部環境が変化する中で人材改革が求められ、多言語環境をさらに充実させることが求められています。



(令和2年10月作成)

問い合わせ先

Wovn Technologies 株式会社

秦 藍子/Aiko Hata

Tel: 03-4405-9509

Email: aiko.hata@wovn.io

<https://wovn.io/>